

2021年11月10日

企業の持続的な事業成長に貢献する 統合マーケティングダッシュボード「MIERO」提供開始

－ テレビ・デジタル動画統合管理ダッシュボード「MIERO Digi × TV」をローンチ －

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：五十嵐 博、以下「電通」）および株式会社電通デジタル（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：川上 宗一、以下「電通デジタル」）は、クライアント企業のマーケティングの高度化と持続的な事業成長を実現するために、「複数メディアの統合モニタリングおよび運用・マーケティングデータの統合利活用」を可能にするダッシュボード「MIERO / Marketing Integration Effect Reading & Operation」（ミエロ）の提供を開始します。本ダッシュボードには、これまでに電通・電通デジタルがご提供してきたデジタル広告モニタリングシステム「EASI@ Monitoring」およびテレビCM効果可視化システム「レスポンスコネクター」も統合されます。また、「MIERO」ブランドの新サービスとして、テレビCMとデジタル動画広告の統合管理とマーケティング統合分析を実現するダッシュボード、「MIERO Digi × TV」（ミエロ・デジテレ）を本日付でローンチします。

MIERO

■ 「MIERO Digi × TV」（ミエロ・デジテレ）サービス概要

MIEROブランドのダッシュボード第一弾となる「MIERO Digi × TV」（ミエロ・デジテレ）では、テレビとデジタル動画を一つのメディアとして捉え、テレビ・デジタルの統合リーチの算出や、エリア・性・年代ごとのリーチの可視化が日々単位で可能となり、テレビ・デジタル双方の運用効率化と、マーケティング戦略における迅速な意思決定をサポートします。また、「MIERO」ブランドの機能拡張に伴い、購買データと広告接触状況との統合分析、ブランドベースでの統合リーチ予測機能、テレビCM・デジタル動画の最適予算配分算出などの機能カスタマイズにも対応予定です。導入に際しては、電通および電通デジタルの各部門が緊密に連携し、データ管理からP DCAの実施まで、ワンストップできめ細やかなサポートを行う体制を構築しております。

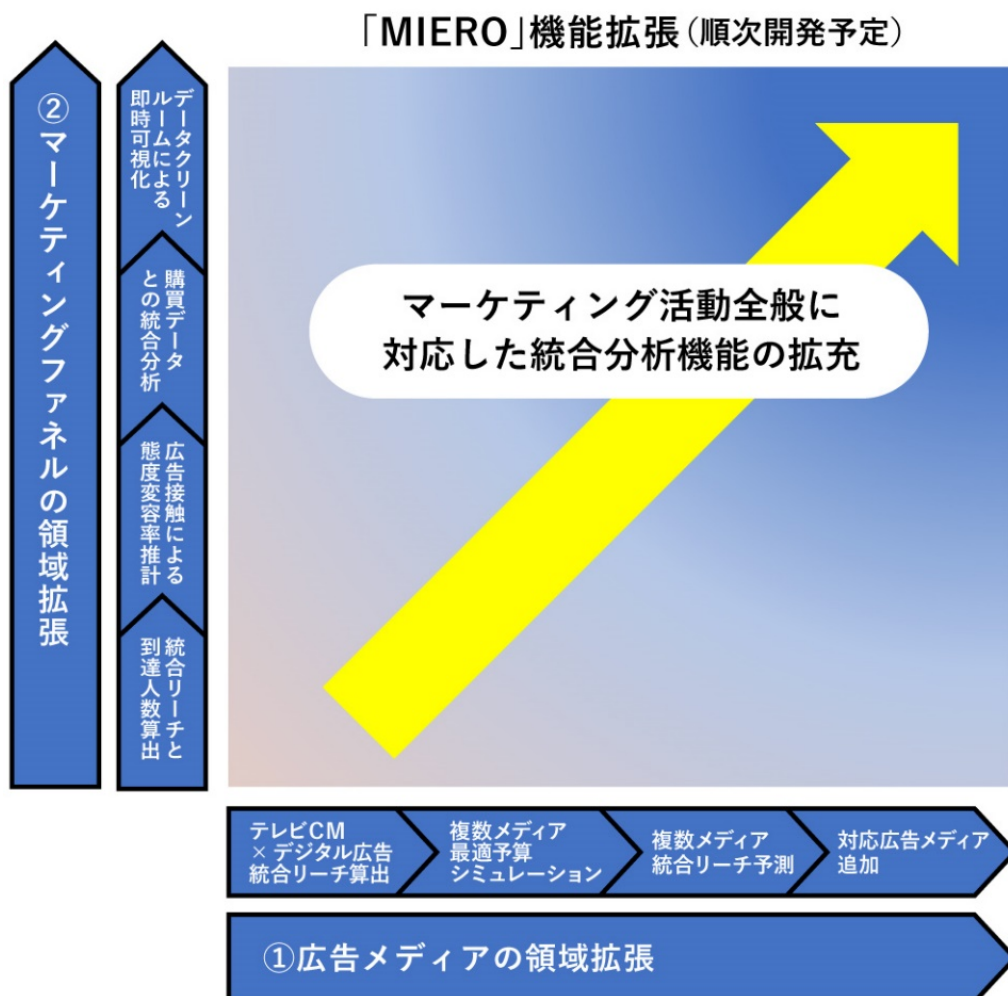
MIERO Digi×TV



■ 「MIERO」の今後の拡張について

「MIERO」ブランドではマーケティング活動全般の統合データ分析に対応するために、今後もサービスを順次開発し、領域を拡張してまいります。第一弾となるテレビCM・デジタル動画広告統合からスタートして、広告メディアとマーケティングファネルの2領域で機能拡張を続けていく予定です。

- ① 広告メディアの領域拡張：各メディアの統合モニタリングや予測・シミュレーションを実現するサービスのローンチ
- ・デジタルメディア・テレビメディア・主要オフラインメディア（ラジオ、新聞、雑誌、OOHなど）すべてのオーディエンスデータを統合した広告モニタリング
 - ・ブランドごとの広告施策の過去実績データを参照した統合リーチ予測・最適予算シミュレーション
- ② マーケティングファネルの領域拡張：“人”基点で各種マーケティングデータを統合する「People Driven Marketing®」フレームワークを応用した、マーケティング指標データとの統合分析を実現するサービスのローンチ
- ・広告接触者の態度変容率推計
 - ・購買者データ取り込みと広告接触状況との統合分析
 - ・データクリーンルーム連携による、デジタル指標（コンバージョン率やサイト来訪率など）や広告出稿状況など広告効果の即時分析・即時可視化



これからも、電通・電通デジタルはクライアント企業の持続的な事業成長に貢献するIntegrated Growth Partner (IGP) として、AX（広告の高度化／効率化）・BX（事業変革）・CX（顧客体験の変革）・DX（マーケティング基盤の変革）を推進し、ダッシュボード活用という領域でもマーケティング全般の高度化を実現します。また、クライアント企業・広告メディア・コンテンツ・市場・ステークホルダーと緊密なつながりを構築し、新しいマーケティング価値と持続的成長の実現を目指してまいります。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報局 事業広報部

陳、山田

Email : koho@dentsu.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 ラジオテレビビジネスプロデュース局 動画ビジネス推進部

林、田中

Email : miero@group.dentsu.co.jp